

各団体の主な取り組み

■ BA-6 アドベンチャートラベル推進

令和3年9月20日（月）～24（金）※阿寒DMO等～オンライン参加
【アドベンチャートラベル・ワールドサミット(ATWS)2021北海道】バーチャル開催
（北海道運輸局、北海道経済産業局、北海道）
・ATツアー磨き上げ（北海道運輸局、北海道）・ガイド研修（北海道）
・AT事業者広域連携・販路拡大支援、AT旅行会社（北海道運輸局）

■ NP-3 脱炭素化

・ゼロカーボンパーク登録

主な国立公園利用施設において2025年までにRE100の実現を目指す
（環境省、釧路市、弟子屈町、美幌町、足寄町）

■ AK-2、AK-3、AK-7

阿寒湖温泉

・ロストカムイ、カムイルミナ実施
・アイヌアートギャラリー本格オープン（2021年6月）
・チュウレイ島ツアー実施（2021年10月から）
・E-BIKE～旅行商品の開発（阿寒観光協会まちづくり推進機構）
■カムイルミナ
生態系影響調査実施（環境省）
■AK-8
阿寒湖まりむ館（観光案内所）
・外国語対応スタッフ配置（釧路市）

■ ON-1 オンネトー

・新休憩舎【UPIオンネトー】



2022年6月オープン（足寄町）

■ KU-2

屈斜路カルデラ外輪山トレイル

（美幌峠・津別峠・藻琴山）
・コース整備、モニターツアー実施



（美幌地区3町広域観光協議会）

■ BA-3 3空港を繋ぐトレイル推進

・非動力ATツアー対応に向けたガイドライン作成・セミナー開催（運輸局）

■ KU-1（弟子屈町）

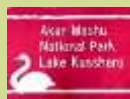
屈斜路湖の新たな活用

・屈斜路湖、釧路川源流域利用実態調査実施

■ KU-1

屈斜路湖動力船規制

2021年10月開始（環境省）



■ AK-5 滝口自然探勝路

・2022年6月全区間開通（環境省）



■ AK-4 阿寒湖畔EMC

・2022年1月展示改修完了（環境省）

■ BA-4 阿寒摩周国立公園インナーブランディングの推進

・「自然の郷ものがたり」第2号発行
～旧阿寒町、弟子屈町の全戸に配布（環境省）

■ KA-5 摩周・屈斜路トレイル

・新規ルート検証、トレイル道標設置（弟子屈町）

■ KA-6 持続可能な観光地域づくり

・観光振興計画策定
・日本「持続可能な観光」地域協議会への参画（弟子屈町）

■ KA-7 川湯温泉川の魅力向上

・遊歩道の延長・整備
・川床清掃、ライトアップ、環境改善（弟子屈町、川湯地域運営協会）

■ KA-7 川湯の森ナイトミュージアム

・硫黄山ライトアップ、凶鑑の森、森のマルシェ開催（環境省、摩周湖観光協会）

■ KA-1 川湯温泉街（廃屋撤去）

・2棟目（川湯プリンス）
2022年3月～撤去完了
・3棟目（御園ホテル）
2022年4月弟子屈町取得
2023年撤去予定
・4棟目（川湯グランドホテル）
2022年2月弟子屈町取得
2023年撤去予定



（川湯プリンス）（御園ホテル）（川湯グランド）
（環境省、弟子屈町）

■ KA-1

川湯温泉街DIY

（摩周湖観光協会）



■ KA-2

川湯EMCインバウンド対応強化 2022年4月ビジターセンターに名称変更（環境省）

■ MA-3 裏摩周-神の子池トレイル、プログラム開発

・ルート調査、看板整備 他
（きよさと観光協会、清里町）

■ MA-1 裏摩周園地

2021年7月
裏摩周
展望台リニューアル（環境省）

■ MA-5 摩周湖外輪山

・西別岳登山道再整備設計完了（環境省）

■ KA-4（弟子屈町）

官民連携による誘客促進

※REVIC連携協定事業
・2022年7月「摩周湖カムイテラス」オープン



■ KA-3 町民駐車場無料解放

・2022年9月から2025年まで摩周湖・硫黄山（自然公園財団）

■ BA-6 アドベンチャートラベルの推進

・道東のAT向け自然ガイドブック「Wild Hokkaido」発行（環境省）

ひがし北海道3国立公園をつなぐトレイルネットワーク構想の推進

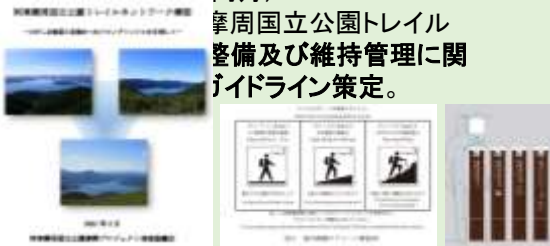
【これまでの取り組み】

・阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト「ステップアッププログラム2025」の重点施策にトレイルネットワーク構想を位置づけ、摩周屈斜路トレイル、屈斜路外輪山トレイル、裏摩周神の子池トレイル等をネットワークで繋ぎ、**3空港(釧路空港、女満別空港、中標津空港)を結ぶトレイルネットワーク構想**として推進。

【2019(令和元)年度～】

- ◆2019年7月～2020年2月
トレイルネットワーク構想(案)及びトレイル標識整備及び維持管理に関するガイドライン(案)策定。
- ◆2020年7月～2020年12月
トレイル標識に関する統一デザイン(案)検討。
- ◆2021年2月
阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会にて、「阿寒摩周国立公園トレイルネットワーク構想」を推進することを決定。

(同年同月)



摩周国立公園トレイル整備及び維持管理に関するガイドライン策定。

- ◆2021年11月～2022年3月
トレイルネットワーク推進のための課題整理及び、管理運営体制構築に向けた方向性を検討。

【当面の課題】

1. 地域の**理解促進**。(気運醸成)
2. トレイルルート全体の**情報発信拠点及び管理運営体制構築**。
3. 長く歩く旅として楽しめる**1本に繋がったロングトレイル(300km超)づくりの推進**。
4. ロングトレイルとして**ブランディングの推進**。
5. **歩くことを目的とする人々の誘客推進**。

2022(令和4)年度「3つの国立公園とまちを繋ぐロングトレイル」の検討開始

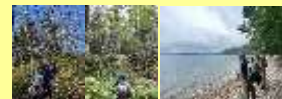
【3つの国立公園とまちを繋ぐロングトレイルの実現に向けて】

370Kmロングトレイルへの挑戦！(13市町村連携) ～長距離自然歩道(計画)の活用

- ①満喫プロジェクトによる3空港を結ぶのトレイルネットワークの取組みを、釧路湿原国立公園、阿寒摩周国立公園、知床国立公園を繋ぐロングトレイルに！(長く1本に繋げることで誘客ノツアー化の推進)
- ②3国立公園とまちを結び、300Kmを超える長く1本に繋げたロングルートを検討。(広域ブランディング)
- ③北海道自然歩道(長距離自然歩道)整備を含めた取組みに拡大。(地域の取組みをサポート)
- ④北海道らしい5つの特色あるエリア(日本一の**釧路湿原エリア**、**酪農エリア**、日本一の**カルデラエリア**、**畑作エリア**、**知床世界遺産エリア**)を歩きながら、自然環境の厳しい北海道に移り住み、開拓してきた人々の暮らしと風土を感じ、今なお残る大自然の神秘にロマンを感じながら歩くロングトレイルとして推進。



世界水準のロングトレイル形成を目指す



【主な取り組み】

- ・8～9月**ロングトレイル想定ルート**の全線調査(徒歩、車)
- ・関係**自治体等(13市町村他)**への個別**ヒアリング**実施…11/1～11/10、12/9
- ・トレイル**関係者等との交流会**開催…第1回 11/2、第2回 1/17
- ・トレイル**勉強会(説明会&ワークショップ)**開催～3公園毎に実施…12/8、12/12、1/18
- ・**シンポジウム**開催(釧路)…2/4
- ・トレイル憲章(素案)、トレイル名称(素案)、ロゴマーク(素案)、運営体制(案)の検討
- ・トレイルルート上の基礎情報調査
- ・プロモーション素材撮影(写真・動画)



【2023(令和5)年度】(計画)

- ・**ルート確定**(未調査ルート調査、本線となる1本のルート確定、トレイル管理台帳作成 ほか)
- ・**管理運営体制の構築**(運営体制構築、会議体立ち上げ)
- ・ブランドイメージ決定(**名称、ロゴマークの決定** 等)
- ・**プロモーション**(動画、ポスター等、旅行会社向けプロモーション素材)

【2024(令和6)年度】(目標)

目標：2024年 全線開通！

斜里〜ウトロ海岸線



清里町



屈斜路カルデラ外輪山



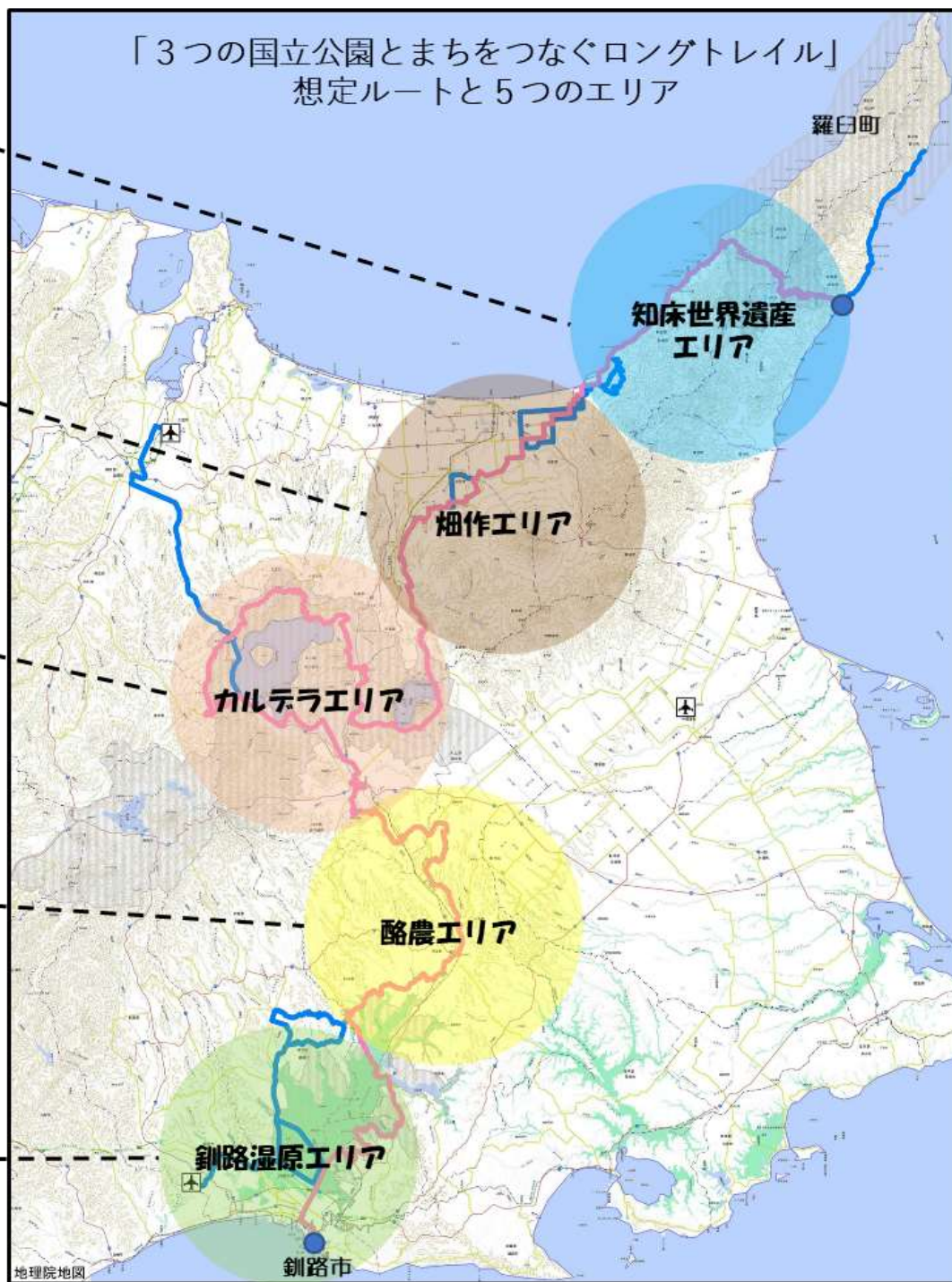
900草原



釧路湿原



「3つの国立公園とまちをつなぐロングトレイル」 想定ルートと5つのエリア



川湯温泉の再生

■ 廃屋の撤去 ■

- ① H30～R1 華の湯ホテル解体(環)
- ② R2～R4 川湯プリンスホテル解体(環)

まとまったスペース確保

- ③ R4 御園ホテルの一部解体(環)
- ④ R5予定 御園ホテル解体(環)
- ⑤ R5予定 川湯グランドホテル解体(町) 湖山荘解体(町)

まとまったスペース確保

■ 廃屋撤去跡地での宿舎事業者の公募 ■

環境省が環境省所管地と町有地を合せた土地
15,839.17㎡で宿舎事業者を公募
令和3年度

5/14・27 サウンディングの実施

令和4年度

9/6 公募開始

10/28 入札・落札者決定。星野リゾートが落札

令和5年

2/13 星野リゾート、弟子屈町と釧路自然環境事務所の3者で事業実施協定締結

■ マスタープラン(MP)の策定 ■

令和4年度

弟子屈町が「国立公園利用拠点等滞在環境上質化事業」により、川湯温泉再整備のマスタープランを作成。

>コンセプト 「湯の川がつむぐカルデアの森の温泉街」

>まちづくりの方向性

- ・川湯温泉の特長を際立たせる ~ 湯の川中心の街、自然と賑わいが一体の街
- ・適切なスケールの街づくり ~ ふさわしい規模へ、上質な景観づくり
- ・訪れる目的を増やす ~ 新たな目的作り、通年集客、滞在時間の延長化

令和5年度(計画)

- ・MP推進体制の構築、まちづくり会社設立検討、進出企業調査 等



マスタープランのイメージ

